

HANKYU GREAT GUIDE

五十音順で選んだキーワードを基に、
TOKK編集部が魅力あるスポットを徹底
紹介!今回は「か」。「輝く鳥居」。



「輝く鳥居」

みかねじんじゃ
御金神社

阪急烏丸駅

全国唯一のお金の神様

金色の鳥居をくぐって
金運アップ

街中に突然現れる金色の鳥居、こんな色の鳥居は他ではめったにお目にかかれぬ。元々は木製で、その後は長く鉄製のものが使われていたが、平成14(2002)年に金色に塗り替えられた。氏子の中に金箔を扱う会社があり、開発されたばかりの屋外用塗料の試し塗りがきっかけだったそう。そして、同社が祀るのは、日本で唯一のお金の神様・金山毘古神で、金の鳥居と金運の神様とは何とも縁起が良い組み合わせ。金属類を司るこの神様は、古くは刀や農機具に関わる人から崇敬されていたが、現代になると鉱工業、貨幣に使われる金銀銅、貴金属、資産運用としての不動産や証券にまで広がった。最近では特に貨幣の部分が注目されて、お金の神様として信仰を集めている。

編集後記

夜は鳥居がライトアップされ、昼とは全く違う幻想的な雰囲気に。お出かけの帰りや夜ご飯の後、最後にここへ寄って願掛けするのもおすすめ。(編集K)

24時間、
参拝できる抛りどころ

24時間参拝でき、授与品を受け取れるというのも珍しい。昼の神様・天照大神、夜の神様・月読神を祀ることから、昼夜を問わず、いつでも参拝でき、鉄箱にお金を入れれば夜間も授与品を持ち帰れるようになっている。同社の鳥居希恵子さんは「お金は、人が生まれてから死ぬまで付き合わなければならない大切なもの。ここが少しでも皆さんの心の抛りどころとなれば」と言う。お参りの後、みんな何をお願いしているか気になって絵馬所をのぞいてみた。「年商〇億円達成!」「お金にゆとりある人生が送れますように」「家が欲しいから、宝くじ当選を」と、ストレートなお願いが山のように掛かる様は壮観。心機一転の春なればこそ、この御利益にぜひあやかりたいもの!!



ご神木のイチョウにちなんだ
イチョウ形の絵馬がぎっしり掛かる。



社殿の軒丸瓦にも
金の文字が。



ビルに囲まれた境内で、上を見上げるとこだけ空間が抜けて、空が広がって心地良い。

COLUMN

手に入りたい授与品

お参りの後は、黄色や金色の縁起もの・授与品を授かりたい。



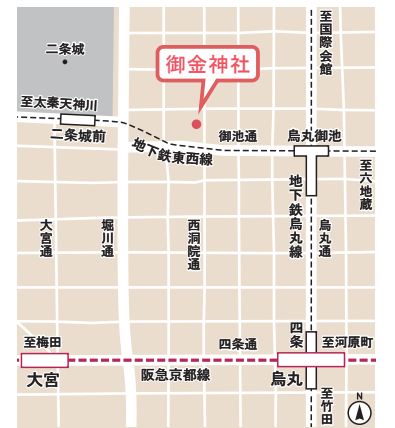
「イチョウ形絵馬」は、金地に赤で書かれた金の文字と御利益がありそうなデザイン。500円



「おたから小判」は財布などにも収まるコンパクトサイズで、キラキラ光る金紙に包まれている。500円



「御金まもり」は、イチョウの形(左)とギンナンの形(右)の2種がある小さなお守り。共にミニサイズの小判が付いている。各1,000円



御金神社

境内自由(ただし授与所は10:00~18:00)

☎075・222・2062

※阪急烏丸駅下車 北西へ1.3km
または阪急烏丸駅から地下鉄のりかえ烏丸御池駅下車 西へ500m